

平成24年9月8日

C N A C海あそび安全講座実施報告書

特定非営利活動法人リバーシブル日向
理事長 秋 實 範 浩

開催日 : 1012年8月21日(火曜日)
開催場所 : 宮崎県門川町門川湾 乙島キャンプ場ビーチ
参加者 : キャプテン牧水の「無人島探検隊」参加者(小学校3年生から6年生まで)
参加者数 : 30名
スタッフ数 : 法人スタッフ6名、ペイドスタッフ1名、ボランティアスタッフ2名、インターンシップ1名 計10名
講師 : 秋實範浩 CONEコーディネーター/RACトレーナー
/海あそび安全講座認定インストラクター
成崎 聡 CONEトレーナー/RACトレーナー
/レスキュー3SFR
税田裕子 CONE・RACインストラクター
松崎伸哉 CONE・RACインストラクター

実施状況

このキャンプは、「水の循環環境教育キャンプ」として開催し今年で3回目となる。山編、川編、海編と3シリーズのキャンプをするのだが、それぞれのフィールドにおいて必ず行うのが野外活動安全講座である。昨年までは、海でもRACのセルフレスキュー講座を実施していたのだが今年初めて海あそび安全講座を行う。キャンプ実施以前に法人スタッフを対象にした海あそび安全講座を行いスタッフ全員が指導できるようにしました。

そしてキャンプ当日はキャンププログラムのスノーケリングでのアマモ観察会の前プログラムとして実施することになりました。

30名の参加者を2班に分け30分のローテーションでそれぞれ体験してもらいました。

1班 アマモについての勉強会、危険予知ゲーム(海あそび安全講座 パネル使用)
ペッボトルレスキュー指導、的投げゲーム

2班 落水した時の対処法、ラッコ浮、浮力のあるものを抱えてセルフディフェンス
スノーケリング指導

全員が一巡りしたところで全員で藻場のある浅瀬に移動しアマモの観察を行いました。

所 感

昨年までは、海編のキャンプでもRACのレスキュー講座を行っていたがRACのそれはどちらかというと大人を対象にした講座で特にスローバックが子どもにとってハードルが高かったようでした。しかし、ペットボトルレスキューは低学年でも慣れてリリースポイントが分かれば遠くに投げられるようになり、的入れゲームでは全員楽しんでいただけたようだ。

また、海あそび安全講座パネルもキケン君を探せではワイワイと楽しくできていた。今回参加の子どもたちは地域も学校もまちまちでしたが、ほとんどの子供が小学校で着衣泳を体験しておりペットボトルに捕まって浮くことは大変上手でした。県内では着衣泳法の指導がしっかりなされていることに驚きましたが夏休み前に県内の児童が用水路に落ちて溺死するという事故が発生しました。夏のシーズンだけではなく日頃からそのあたりの指導が必要なのかな！？と考えてしまいました。

以上



アマモについて学んでいます。



海あそび安全講座「キケンくんを探せ！！」です。



ペットボトルレスキュー



着衣泳とライフジャケットを付けてのラッコ浮



アマモ観察会

(漂着していた丸太を海に引っ張り出してそれに捕まりアマモを観察する子がいたり…子どもは遊びの天才だ!!)